



せいひ会だより

2018年(平成30年)
3月1日発行
<第215号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



鬼は～外!
福は～内!

通所・丘の家での節分は、成年生まれの利用者お二人が福女に扮装、「豆まき口上」で始めました。そこへ、利用者お手製のこん棒とお面をつけた鬼が登場！その迫力に、最初は豆まきの掛け声が小さかった皆さんですが、徐々に声も大きくなり、投げた豆も鬼に命中！鬼はそそくさと退散していきましたとさ。

2月の行事

- 03日 節分(GH・風和・通所介護・寿限無・じゅげむ)
- 16日 運営推進会議(GH)
- 23日 消火訓練・基礎訓練(風和)
- 27日 応急処置等基礎訓練(シニアヴィレッジ)
- 28日 夜間想定消防総合訓練(寿限無)



3月の行事予定

- 03日 ひなまつり
(GH・風和・通所介護・寿限無・じゅげむ)
- 06日 通報訓練(シニアヴィレッジ)
- 07日 運営推進会議(通所介護)
- 15日 運営推進会議(寿限無・じゅげむ)
- 28日 AED心肺蘇生法講習(寿限無)



インフルエンザ等の 感染予防について

せいひ会の各施設におきまして、感染症予防の為、手指消毒・マスク着用のほか、面会場所を限らせていただくなどの対策を行っております。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



パースデイのデビュー



山本 敬子様

川崎スイ様
101歳お誕生日
おめでとうございます

今回は元亀の里：山本敬子様にお話を伺いました

長崎県松浦市で5人兄弟の1番目として生まれる。子供の頃はおとなしい性格で、友達と遊ぶことはあまりなく、両親の農家の手伝いをしていた。「主に野菜を育てることが多かったです」と話される。西彼杵郡時津町の老人ホームに住み込みで働いていたころは、「介護の仕事、調理師の仕事、一通り全部こなしてきましたよ。」と話される。介護では「現在のように使い捨てのパンツオムツではなく、布パンツを毎日洗って乾かしていましたよ。ただ、大きい洗濯機と乾燥機があったから助かりました。」「調理師として働いていたときは、施設長に調理師免許を取るよういわれ、仕事で疲れていても家に帰って勉強していました。その結果調理師免許を取得することができました。」と嬉しそうに話

されていた。45名ほどの入所者さんがいたそうで、「『ごはんの量が他の人と違って少なめやっか!』などと文句を言う人がいて大変でした。でも、今思えばとても楽しい仕事でした。」と、笑顔で話された。その後、西彼町亀浦郷のシャツ工場に働いていたが、65歳ごろに仕事を辞め、生活支援ハウス丘の家に入居し生活していた。現在は、元亀の里に入所されている。歩行が困難であるため車椅子での生活だが、リハビリでは杖だけで歩く練習をされている。職員のことも、「会話も対応も優しくしてもらってます。」と話されていた。これからもお身体には気を付けて、元気にお過ごしください。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



じゅげむ：山本一枝



じゅげむ：大坪公子

さくら
作中和子

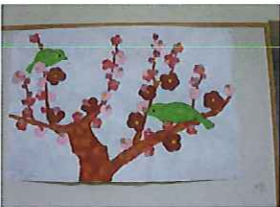
風和：作中和子

通所して
喜び増える行き帰り
あこがれ海は湖のこと
波静か海鳥鳴め
これ又武のうらハビり増えし

通所：田崎清美

左
春

通所：竹下晶子



寿限無：松江恵美子



寿限無：渋谷アケミ

鬼神没出
秋浦克敏

通所：秋浦克敏

豆まき
フクエ

通所：浦崎福江

大雪に
負けないくらいの
白髪なり
(風和) 平野マサ

節分

各事業所での豆まきの様子です！



グループホーム



翠風・爽月両ユニット対抗の「豆入れ」。豆に見立てた紙玉を、競って投げ入れあいました。優勝の翠風ユニットには表彰状が贈られ、最後はみんなで仲良くお菓子を頂きました。

じゅげむ



小規模多機能じゅげむの豆まきでは、豆の代わりに紙玉を鬼に投げつけ鬼退治！次々やってくる厄災を追い出して、今年も楽しくいきましょう！

寿限無



参加した皆さん、「今年も豆を投げて楽しかった〜！」と、大喜びでした。

風和の里



豆の代わりに、落花生やお手玉で鬼をしっかり追い払いました。豆まきの後は、「鬼と写真を撮りたい！」と、人気者の鬼は引っ張りだこでした。

ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、元亀の里・中尾秀一郎さんです。

平成29年7月、私は最愛の母を亡くしました。89歳でした。82歳でアルツハイマー病を発症し、日々物忘れにおびえていました。家族は認知症に対し知識もなく、理解してあげることができませんでした。母は、老人会の友達に誘われて通っていたデイサービスで、1曲の歌に出会いました。皆さんは、樋口一さんの「手紙〜親愛なる子どもたちへ〜」という曲を御存知ですか？母は、その歌詞を私たちに渡し、「これが今の気持ち」と一言。その歌詞には、年老いていく親から子へ、『死は悲しいことではなく、年老いた自分を見て、自分が無力と思わないでほしい』とありました。私は母をなかなか受け入れることができず、「なんしょとや！」とつい厳しい口調で言うこと

が多々ありました。3年前に転倒し車椅子生活になってからは、認知症も進み、家族の名前を覚えているのがやっとでした。そんな時に私は、樋口一さんの「手紙」を聞いてみました。『私の人生の最後に、あなたが生まれたとき私が寄り添ったように、私に寄り添ってほしい』その時が今ではなく遠い未来であってほしいと思いながら、私は母に毎日会いに行きました。今は、母も私がこの仕事に就いたことを喜んでいてと思います。皆さんも、機会があったら「手紙」という曲を聞いてみませんか？もっと、もっと優しくなれるのではないのでしょうか？

新人職員紹介



風和の里
伊野伊織さん

介護は未経験ですが、利用者の方に安心してご利用してもらえよう頑張ります。

運営推進会議



2/16、シニアヴィレッジせいひ会議室にて、GHせいひ運営推進会議が行われました。平成29年度外部評価の結果報告及び、平成30年度運営推進会議の日程や取り組みについて説明を行い、参加された方とも活発な意見交換が行われました。